

沖縄県西表島における細長型ココヤシ果実の漂着

Record of a slender fruit of *Cocos nucifera* stranded on a shore at Iriomote Island, Yaeyama Islands, Okinawa Prefecture, Japan

(京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)
久保田 信
(京都大学フィールド科学教育研究センター紀伊大島実験所)
梅本 信也

わが国沿岸には、東南アジア諸国など南方より黒潮に運ばれて漂着する様々な植物果実が知られるが(中西, 1990, 1999)、もっとも目に触れやすい果実は“ヤシの実”としてよく知られるココヤシ *Cocos nucifera* L. である。今回報告するココヤシは、店頭などでもよく販売されており、日本各地にしばしば漂着する普通の丸まった形状とは異なり細長く稜が明瞭なものであった。このような特異なココヤシのわが国沿岸への漂着例の報告は、和歌山県番所崎で過去14年間に3個が発見された記録のみである(樫山ほか, 2003)。

今回、沖縄県西表島にもこのような細長いココヤシが漂着しているのを発見したので報告する。

(漂着データ)

沖縄県八重山郡西表島内離島の砂浜の潮上帯で2002年3月15日に1個の果実を発見。長さ225mm、最大幅127mmの細長い果実で、3稜が明瞭。(図1)

なお、同地点に漂着していた他の数個のココヤシの果実は普通の丸まった型。

本標本の長さは通常の大さの範囲内であり、和歌山県白浜町に漂着した同型の3標本(長さ218-240mm、最大幅112-120mm:樫山ら, 2003)と比べてわずかに太めであった。

わが国に漂着するココヤシの果実の形状は色々で、様々な大きさや形のものが漂着しているので(中西,

1990)、今後も今回のような形状の細長い果実の漂着が日本各地でも確認される可能性があるだろう。

(引用文献)

樫山 嘉郎・久保田 信・戸部 博・中西 弘樹. 2003. 変わった型のココヤシの和歌山県白浜町番所崎への漂着記録. 漂着学会誌, 1: 29-30.

中西 弘樹. 1990. 海流の贈り物. 254pp., 平凡社, 東京.

中西 弘樹. 1999. 漂着物学入門, 211pp. 平凡社, 東京.



(図1)

Fig. 1. A slender fruit of *Cocos nucifera* stranded on a shore Uchibanare Islet of Iriomote Island, Okinawa Pref., Japan.